災害ボランティアの協働に向け100人が意見交換

梅雨入り前の5月9日、災害発生した際の活動について、机上訓練・意見交換会を開催し、校区社協や民生委員を始め、災害時の被災者支援活動のNPO団体、支援活動を考えている企業など約100人が集まりました。

前半は、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄氏による基調講演を行い、被災者がボランティアセンターへ相談できるようになるには、『専門的な点の支援と地域の網の目が必要なこと』『支援者の限界を支援の限界としない相談のあり方』など、被災者に寄り添った支援とはどういうものなのかを再度考えることにつながりました。

後半は、3つのグループに分かれ、【被災者ニーズを相談機関へつなぐための寄り添った支援活動について】【災害ボランティアセンターの連携した運営について】【多様な連携による被災者支援活動について】、多くの意見交換がなされました。

意見交換の様子

基調講演を熱心に聞く参加者の皆さん

今後の災害に備え、協働による被災者支援活動のあり方を皆さんと一緒につくっていきたいと考えています。ご協力いただける個人・企業・団体などがありましたら、ご連絡ください。

令和5年 災ボラ報告

今回の報告記事

問合わせ
市社会福祉協議会・ボランティアセンター
TEL0942・34・3035

夏ボラ体験講座 参加者募集

今年は大学生・高専生とコラボ！
高等教育コンソーシアムとの協働！
色んな“ふくし”体験を一緒にやってみよう！

- 日　時　8月21日（木）、8月23日（土）10:00～15:00
- 会　場　荘島体育館（久留米市荘島町11-1）
  えーるピア久留米（久留米市諏訪野町1830-6）
- 内　容　実際の体験を通じ、福祉や障害について学びます。
  その他、パラスポーツなど大学生・高専生と一緒に体験します。
- 対　象
  - 市内居住または市内の学校に通っている中学生・高校生
  - 講座後、難病者・障害者のイベント支援や街頭募金等のボランティア活動に参加することが可能な人
- 定　員　15名程度（応募多数の場合は抽選）
- 参加費　無料　　締　切　8月1日（金）
- 申　込　市社会福祉協議会・ボランティアセンター
  TEL0942・34・3035　FAX0942・34・3090

集え！夏ボラだ――!!

「お知らせ」をご覧ください。